



食の未来づくり運動

私の宣言

農業生産者が一生懸命働いて食べ物を作っていること、そして食べ物を粗末にしないことを子どもたちに知らせる。
江戸川区 天野 邦子

- 1 食料自給率の向上
 - 2 日本の農業を元気に
 - 3 持続可能な社会に向けて
- 1人が5人に地域で「食の未来づくり運動」を伝え、その輪を広げよう

東日本大震災から10年 「3.11を忘れない」オンライン・シンポジウム

主催：東都生協

2011年3月11日の東日本大震災で、甚大な被害を受けた被災地の復興状況の確認、今もその爪痕を残す東日本大震災の教訓を継承することを目的に、オンライン・シンポジウムが開催されました。

継続した交流が「心の復興」につながる

3月6日、42人(組合員、関係団体、東都生協関係者含む)の参加を得て開催(午後2時~3時40分)。「黙とう」をささげた後、風間与司治理事長からの「今日の交流を通じて、改めて震災の記憶・記録を風化させることなく、その教訓を学び継承していきましょう」の挨拶でスタート。



被災関係団体に応援メッセージとともに贈呈されたクリスタル盾

みやぎ生協・コープふくしま ふくしま県本部副部長の宍戸義広さんから10年間の歩みについて、そしてコープふくしまの組合員理事と日本生協連の担当者からは「実際の食事に含まれる放射性物質量の測定」結果が報告された後、10年間の東都生協組合員や産地・メーカーによる支援に対する感謝が述べられ、「被災

者の心の復興こそが大切」と締めくくられました。

続いて、被災地取引先の(株)マルダイ長沼商店と宮城県漁業協同組合表浜支所、被災地支援に参加した(株)コープミート千葉など、メーカー3社と東都生協組合員によるパネルディスカッション。疲弊した被災者への炊き出し、10年間の支援の取り組みや地元企業の商品支援が復興へとつながったこと、今後も組合員、産地・メーカーが継続して交流していく決意などが話されました。また、300件ほど寄せられた組合員からのメッセージが被災した関係団体に贈呈され、「決して忘れない、風化させてはいけない」とあらためて強く感じたシンポジウムでした。

*東都生協公式YouTubeチャンネルで「東日本大震災から10年」の動画を公開しています。右の二次元コードからご覧いただけます。



東都生協組合員からの応援メッセージ冊子

(株)マルダイ長沼商店(宮城県石巻市) 代表取締役・長沼康裕さん



大津波で「めかぶと生かき」は全滅。毎日生きることで精一杯の中、2週間過ぎたころから重機で工場のがれきを片付け始め、8~11月に生かきとめかぶ工場を再開。

当初は、原材料不足や放射能の風評被害で震災前の2割程度の売り上げだった時期もありましたが、2017年、めかぶと生かきの新工場が完成。HACCP(=ハサップ認証規格：食品製造時の安全確保の管理手法)を取得し、現在、売り上げも震災前と同程度に戻り、「やっとここまで」と思っています。東都生協の皆さまからの温かいご支援・ご声援のおかげです。本当に感謝しています。これからも三陸・宮城・牡鹿半島のおいしい海産物をお届けしていきます。

わたしのこだわり「東都冷凍とろろめかぶ(たれ付き)」

宮城県表浜のめかぶを水揚げした日に急速冷凍(鮮度保持)。間接加熱した後、うま味・風味を逃さずパック。

商品カルテからのおすすめメニュー3品

- ・めかぶと長いものしゃっきりサラダ
 - ・めかぶと豚しゃぶのねばねば丼
 - ・ほたてといくらのめかぶ和え
- (※東都生協ホームページ「簡単・おいしいレシピ紹介」に掲載!)



生食用かき

水揚げ直後からの厳しい品質管理・衛生管理で鮮度保持。生かきの成育に近い状態でパックし、高鮮度のままお届け。



参加者の感想(一部)

- 「関心を持たれないのがつらい。つながって関心を持つこと。寄り添うこと」という言葉が印象的。
- 原発事故による問題、地震や津波で失われた日常生活や生業。その後、たくましく復興してきたようすと東都生協の支援を知ることができた。
- 高い防潮堤ができて、「海が見えなくなったが、安全な町になった」という言葉が忘れられない。

●三陸牡鹿表浜「魚つきの森」植樹協議会とは?

2009年、(株)マルダイ長沼商店、宮城県漁協表浜支所、東都生協の三者で「三陸牡鹿表浜魚つきの森植樹協議会」を設立。次世代に豊かな環境や資源を残す海づくりや組合員との交流を目的に活動。

***めかぶや生かきを食べ、復興支援を続けよう! 東北応援商品を購入して東北を支援しよう!**

今月のつみやき

今月の産地ページでは「桃」を紹介しています。桃を眺めると、そのピュアな淡紅色に癒されます。桃の実を口に入れるとジューシーな甘さが広がり、とっても幸せな気分になります。そして、思います。「早くみんなで、桃の産地訪問に行きたいなあ」。コロナ禍の収束が待たれますが、楽しみは後で…。(HK)

お問い合わせ 組織運営部
☎ 03(5374)4756

月曜~金曜：午前9時~午後4時
E-mail: kumikatsu@tohto.coop

〒156-0055 東京都世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル4階

産地直結ひとすじ。いちばん頼れる生協に。

今月の表紙：水芭蕉の花。水辺に生え、葉の形が芭蕉(バショウ)に似ている。

